

大隅地域感染症情報

第37週報 (令和6年9月9日～令和6年9月15日)

発行：大隅地域振興局保健福祉環境部（鹿屋保健所）発行日：令和6年9月19日
 【問い合わせ先】TEL:0994-52-2106 FAX:0994-52-2110 メール: oosumi-sippe@pref.kagoshima.lg.jp

県内に手足口病流行発生警報発令中！

○定点把握疾患

鹿屋保健所管内における手足口病、ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、流行発生警報基準値を超える状況が継続しています（流行発生警報発令中）。

また、鹿屋保健所管内の感染性胃腸炎の定点当たり報告数が増加傾向です。

<定点当たり報告数>

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			34週	35週	36週	37週	34週	35週	36週	37週	37週	36週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.64
COVID-19	-	-	5.63	3.63	2.88	2.63	6.75	6.50	2.00	3.75	3.00	2.28
RSウイルス感染症	-	-	0.40	1.20	1.00	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.57	0.82
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	1.00	1.60	0.80	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.71	0.76
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	2.20	1.60	2.40	3.00	0.00	0.00	0.50	0.00	2.14	1.57
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	7.40	9.80	10.00	12.00	0.00	1.00	0.00	0.00	8.57	2.90
水痘	2.00/1.00	1.00	0.20	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.10
手足口病	5.00/2.00	-	8.40	11.40	8.20	8.80	0.00	0.50	0.00	0.00	6.29	4.84
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
突発性発疹	-	-	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.33
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	7.00	7.60	6.60	6.80	0.00	0.00	0.00	0.00	4.86	2.02
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	1.00	0.00	0.00	0.00						1.29
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.42
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
COVID-19 入院患者(人)	-	-	5	2	1	0	5	5	1	0	0	-

※小児科定点からの報告数です。

■ 警報基準値以上

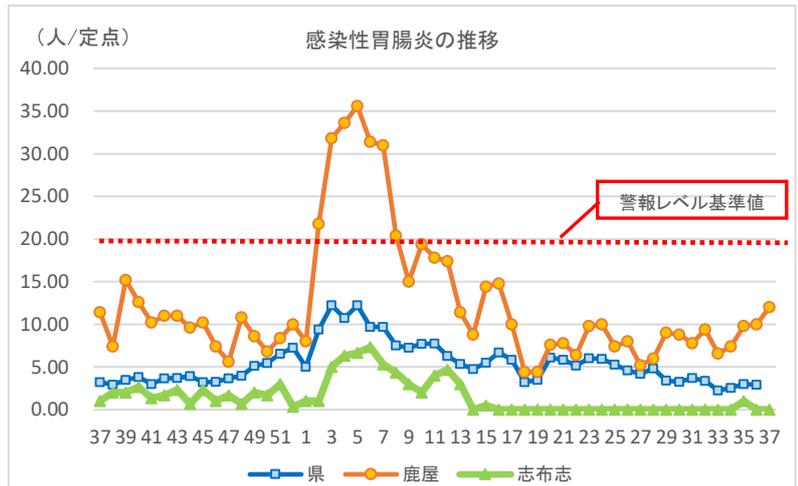
■ 注意報基準値以上

<注目すべき感染症>

・感染性胃腸炎

鹿屋保健所における患者報告数は、前週より10人多い60人(定点当たり報告数12.0)で、県内でも高い値で推移しています。志布志保健所における患者報告はありませんでした。年齢別では、1歳(12人)、10～14歳(9人)、5歳(7人)の順に多いです。

感染性胃腸炎はウイルスや細菌などの病原体による嘔吐、下痢を主症状とする感染症で、毎年秋から冬にかけて流行します。トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。



○全数把握疾患

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	該当なし	該当なし
二類感染症	結核 1例	該当なし
三類感染症	該当なし	該当なし
四類感染症	日本紅斑熱 1例	該当なし
五類感染症	該当なし	該当なし

*速報値であり、後日修正になる可能性があります。

○学校における感染症による出席停止の状況 9/9～9/15

【鹿屋保健所管内】

	流行性 角結膜炎	溶連菌 感染症	マイコプラ ズマ感染症	手足口病	COVID-19
鹿屋市	1	1	2	3	2
垂水市					
東串良町					1
錦江町				3	
南大隅町					
肝付町				2	16
合計	1	1	2	8	19

【志布志保健所管内】

	感染性 胃腸炎	溶連菌 感染症	COVID-19
曾於市	1		
志布志市		1	1
大崎町			
合計	1	1	1

*システムを使用している学校等で、
出席停止を命じた日別の人数

(出典：学校等欠席者・感染症情報システム)

★今週の TOPIC ～ ダニ媒介感染症 その2 ～

36週に引き続き、37週も鹿屋保健所管内でダニ媒介感染症の患者発生がありました。代表的なダニ媒介感染症については、下記のとおりです。予防対策については、大隅地域感染症情報第36週報を参考としてください。

◎日本紅斑熱

病原体：リケッチア・ジャポニカ (Rickettsia japonica)

感染経路：リケッチア・ジャポニカを保有するダニに刺されることで感染する。

潜伏期間：2～8日

臨床症状：頭痛、発熱、倦怠感を伴う。発熱、発疹、刺し口が主要三徴候であり、ほとんどの症例にみられる。つつが虫病との臨床的な鑑別は困難である。

※ただし、詳細に観察すると、

- ・発疹が体幹部より四肢末端部に比較的強く出現する(つつが虫病では主に体幹部にみられる)
- ・つつが虫病に比べ、刺し口の中心の痂皮(かさぶた)部分が小さいなどの特徴がある。

検査所見：CRPの上昇、肝酵素(AST、ALT)の上昇、血小板の減少など

◎つつが虫病

病原体：つつが虫病リケッチア (Orientia tsutsugamushi)

感染経路：つつが虫病リケッチアを保有するツツガムシに刺されて感染する。

潜伏期間：5～14日

臨床症状：全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、発熱などを伴って発症する。体温は段階的に上昇し数日で40℃にも達する。刺し口は皮膚の柔らかい隠れた部分に多い。刺し口の所属リンパ節は発熱する前頃から次第に腫脹する。第3～4病日より不定型の発疹が出現するが、発疹は顔面、体幹に多く四肢には少ない。

◎重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

病原体：フェヌイウイルス科バンダウイルス属の重症熱性血小板減少症候群 (Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome : SFTS) ウイルス

感染経路：主に SFTS ウイルスを保有するマダニに刺されることで感染する。SFTS を発症している動物との接触により感染することもある。

潜伏期間：6日～2週間程度

臨床症状：発熱、消化器症状(嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血)を主徴とし、時に、腹痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴う。致命率は約10～30%程度である。

検査所見：血小板減少(10万/mm³未満)、白血球減少(4000/mm³未満)、血清酵素(AST、ALT、LDH)の上昇が認められる。

SFTS は日本紅斑熱と比べ、CRP が基準値内、白血球減少症、皮疹や刺し口を認めない例が多い、と報告されている。

